

入学時のクラスの写真を掲示しよう！見栄え良く掲示する工夫とは？

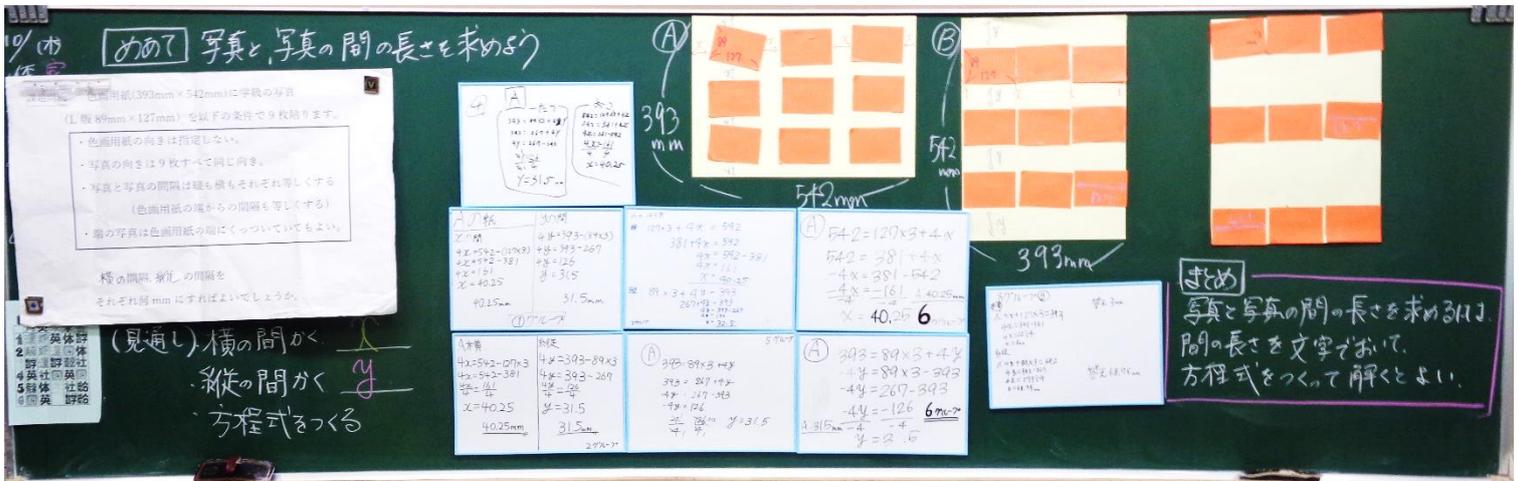
10月6日(木)、平良聖子先生の授業を参観させていただきました(数学・1年7組)。本時は、学級の写真を見栄え良く掲示するために、写真と写真の間を何mm空けたらよいか？方程式を使って解決することがねらいです。

聖子先生の授業で大変参考になったのが、**聖子先生の穏やかな表情の中に『発問の鋭さ』を感じた所**です。

何を求めるの？(結果の見通し)、どうやって求めるの？(方法の見通し)、他に分かっている情報は？(問題把握)などと発問することで、生徒が何を求めれば良いのか、どのような方法で求められそうかが明確になり、生徒の「問い」が、授業の始まりから終わりまで貫かれていました。

教科書のように、キレイな数字ばかりの出来上がった問題ばかりではなく、時には**実生活の中に潜む題材を、生徒が先生と語り合いながら数学の舞台に乗せていく学習過程**は、方程式のよさを感じたり、日常生活に潜む数学を実感したりするチャンスになるかもしれません。

聖子先生、ステキな授業ありがとうございました。

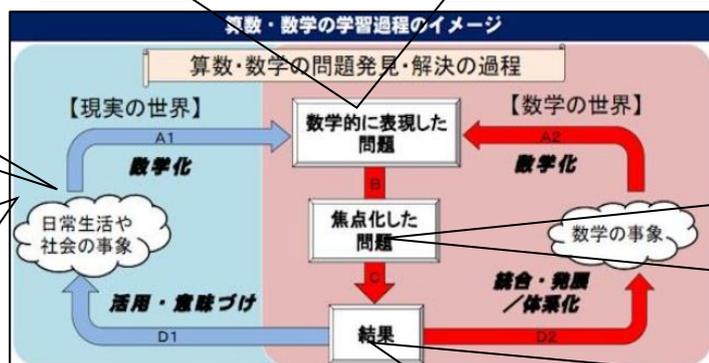


① 日常事象や社会の事象

学級の写真を色画用紙に掲示したい。どのように貼ったらきれいに見えるか問う。

⑤ 2巡目 画用紙を縦にしたり、写真の貼り方を変えたりしてみると・・・

② 数学的に表現した問題 写真と写真の間を等間隔に貼ることができたら、見た目のバランスが良くなり、きれいに見えるはず！



③ 焦点化した問題

横の間隔、縦の間隔をそれぞれ何mmにすればよいでしょうか。

④ 結果(例) $4x + 127 \times 3 = 542$ の解は、 $x = 40.25$ によって、横の間隔を $40.25\text{mm} \div 4\text{cm}$ の間隔で貼ったら、バランス良く、きれいに見える